

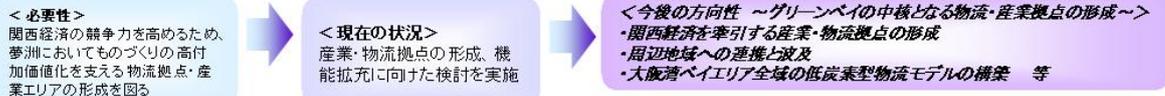
Ⅲ-1 関西経済を牽引する物流拠点・産業エリアの形成の方向性_夢洲

[関西経済を牽引する物流拠点・産業エリアの形成の方向性(事業段階・計画段階)]



Ⅲ-2 関西経済を牽引する物流拠点・産業エリアの形成の方向性_夢洲

[関西経済を牽引する物流拠点・産業エリアの形成の方向性(構想段階)]



IV-1 低炭素型の新しい臨海拠点の形成

[低炭素化に向けた方向性(事業段階・計画段階)]

<必要性>

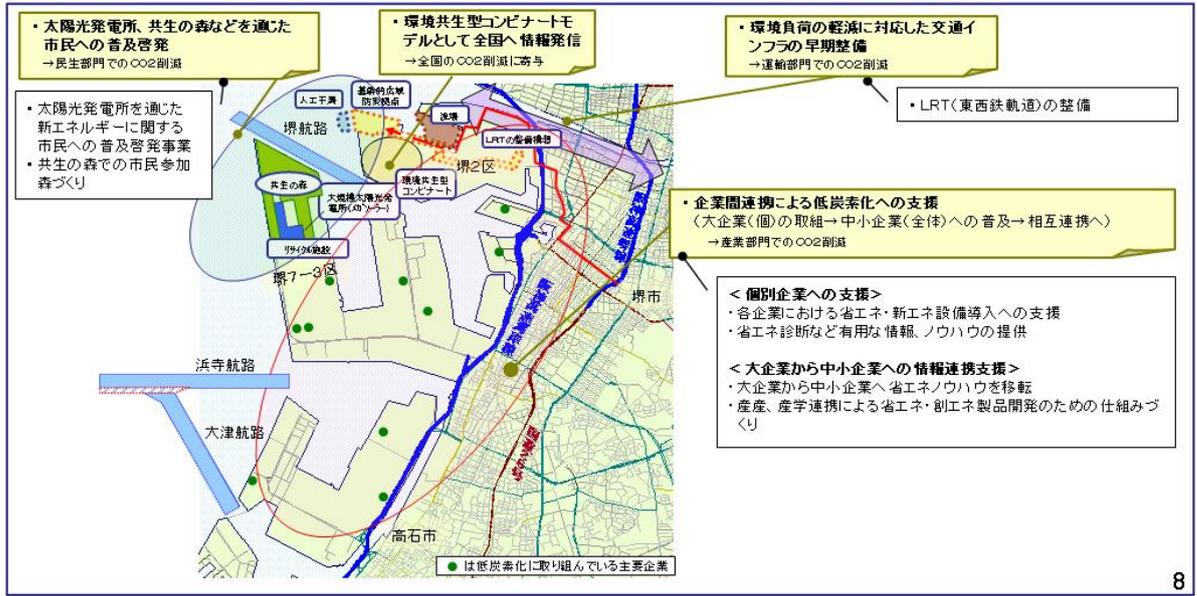
環境モデル都市として、温室効果ガス削減目標を達成するため、低炭素型の新しい臨海拠点の形成が必要

<現在の状況>

現在、大規模太陽光発電所、環境共生型コンビナートなど、環境に配慮した様々な事業が展開中

<今後の方向性 ~現在の取組を加速し、発信、連携へ~>

・先進的な取組の普及啓発、情報発信
 ・環境負荷の軽減に対応した交通インフラの早期整備
 ・企業間連携による低炭素化への支援



IV-2 低炭素型の新しい臨海拠点の形成

[低炭素化に向けた方向性(構想段階)]

<必要性>

環境モデル都市として、温室効果ガス削減目標を達成するため、低炭素型の新しい臨海拠点の形成が必要

<現在の状況>

現在、大規模太陽光発電所、環境共生型コンビナートなど、環境に配慮した様々な事業が展開中

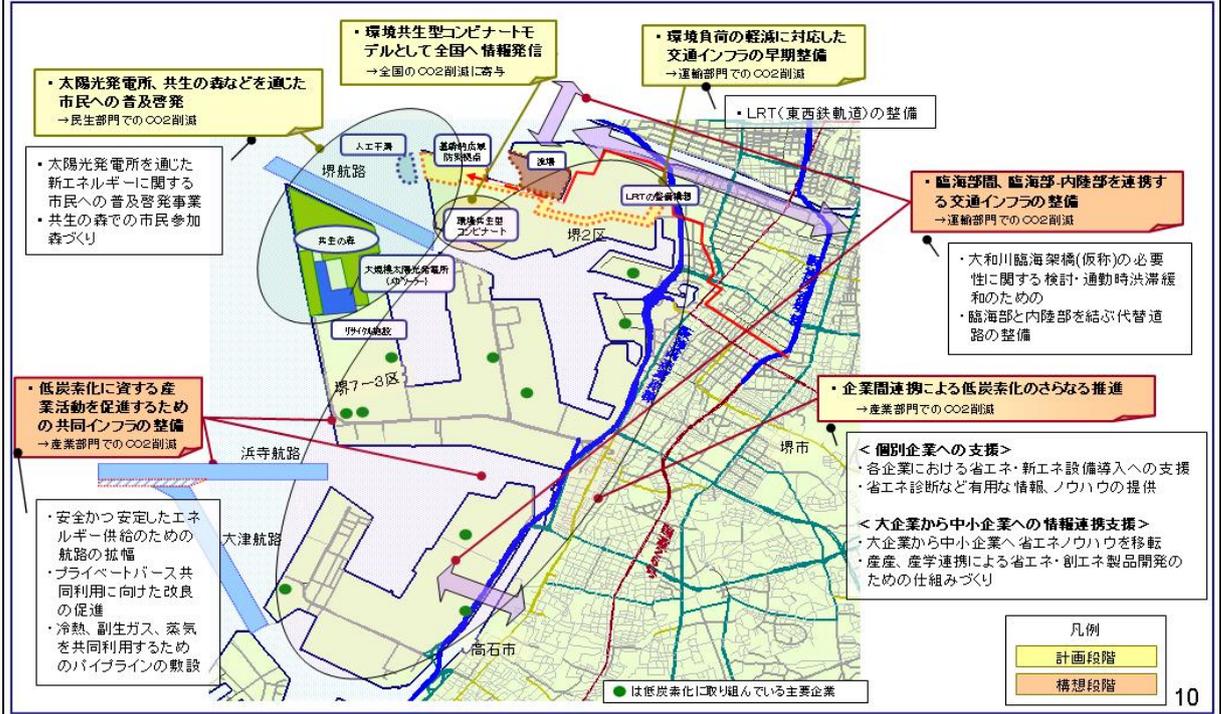
<今後の方向性 ~さらなるコンバージョン(融合)の強化・促進~>

・低炭素化に資する産業活動を促進するための共同インフラの整備
 ・臨海部間、臨海部・内陸部を連携する交通インフラの整備
 ・企業間連携による低炭素化のさらなる推進 等さらなる低炭素化へ



IV-3 低炭素型の新しい臨海拠点の形成

[低炭素化に向けた方向性(最終的な姿)]



V-1 新規土地創出_既存土地再生_大阪木材コンビナート

＜現在の状況＞
○木材の需要構造の変化により、貯木場の利用は激減。
○木材関連産業以外の企業立地が進展。
⇒新たな活用が求められている。

＜立地特性＞
○陸海空交通の要衝地
・阪神高速道路湾岸線に直結し、関西国際空港、大阪港から30分圏内。
○大都市、市場と近接
⇒産業立地としての潜在力は高い。

＜今後の方向性＞
○国際分業に対応した高付加価値産業や物流施設の立地により、既存産業と連携した木材コンビナートの活性化を図る。

